

さくらっ子

輝くこころ 輝くひとみ 輝くからだ

三春町立中郷小学校だより

No. 20

H29. 3. 10

発行責任者 校長 橋本一弥



みんなで楽しく「6年生を送る会」

3月2日に実行委員会が中心となって計画してきた6年生を送る会が行われました。6年生が驚きのパフォーマンスで入場しスタートから大いに盛り上がりました。感謝を伝えるプレゼントを贈り、6年生とふれあうゲームや歌で楽しく過ごしました。みんなで生活できるのもあとわずかとなりました。一日一日を大切に過ごしてほしいものです。



年度末の授業参観・PTA 総会

今年度最後となる授業参観を3月3日（金）に開催しました。それぞれの学年で、今年度の学習のまとめとなる内容を参観いただきました。子どもたちも学習した成果を発表しようと、はりきって授業に臨んでいました。多くの保護者の皆様にご来校いただき、子どもたちの成長した様子をご覧いただくことができました。ありがとうございました。

この後に行われたPTA総会の中では、役員改選もあり、次年度の新役員も決定しました。たいへんお世話になります。

会長	渡邊英夫さん	監査	橋本秀一さん
副会長	渡邊寅一さん		橋本寿樹さん
庶務	新田善一さん		山口進さん
会計	佐藤雅俊さん	※ 庶務・会計には学校より1名ずつ入ります。	



授業参観の様子（4学年）

滝桜の種まき（1年生）

～滝桜の種を蒔きました～

昨年6月に採取して土の中に保管していた滝桜の種の種まきを進めています。この2年間の取組で、発芽率を上げるコツもだんだんと分かってきました。たくさんの種を採取できていたので、各学年で取り組みました。春にかわいい芽が出てくるのが今からとても楽しみです。

なお、育った苗は、緑化に関わる様々な場で活用いただく見通しができましたので、この活動を今後も継続して取り組んでいきたいと思います。





新しい班での登校

2月末から5年生や4年生の新班長さんのもとでの登校となりました。並び方やバスのシートもわかりましたが、上手に登校する姿が見られます。新班長さんががんばる様子と、6年生のアドバイスの声がとても心強いです。



薬物乱用防止教室（6年生）

福島県は薬物の問題が多い県であること、思いよらない形で薬物が近づいていることなどを薬剤師さんに教えていただきました。誘われた時の断り方なども、関心を持って真剣に学んでいました。

子どもをたくましく育てるために

その16 家庭でも「心の教育」を積極的に

(最終回)

～ 家庭が担っている大きな役割を果たす ～

学校で行う心の教育は、道徳教育が中心です。週1回の目安で行う「道徳の時間」の授業を要として学校の教育活動全体を通して指導しています。道徳の時間は、間もなく教科の扱いになります。現状では十分でなく、教科にしなければならないほど危機に立たされている、ともいえます。

この心の教育、心の学習をより効果的にするためにも、ご家庭の協力がとても重要です。保護者のみなさんにも学校の道徳教育のことを理解いただき、力を合わせて取り組んでいただきたいのです。ぜひ、「最近、道徳ではどんなことを勉強したの？」と問いかけてみてください。それに関わる保護者の皆さんの経験談などは、子どもの成長にとって必ずプラスになることと思います。

昨年9月の授業参観では、全学年「道徳の時間」の授業を行いました。その際に配付した資料は、ご家庭にお願いしたい心の教育に役立つヒントを掲載しました。ぜひ参考にしながら家庭での心の教育をお願いしたいと思います。進級や進学を控えたこの時期は心も大きく育つ時期。絶好のチャンスです！

～以下、9月に配付した資料から一部を再掲します～

Q 家庭ではどんなことをすればいいの？

A 家庭では、やはり「しつけ」が重要です。温かい愛情で包みながら、良い・悪いの区別、我慢する心などを育てる必要があります。また、命を大切にできる心、他の人への思いやり、正義感などを、折にふれて話したり実際の行動で示したりして育てていきたいものです。

そのためにも、常日頃からお子さんとのコミュニケーションを大切にすることが大切だと思います。構えることなく、自然な形でいっしょに様々な体験をしたり、そのことを話し合ったりするよう心がければいいのではないのでしょうか。

A その中で大切にしたいのが「失敗」です。友だちとけんかをしてしまった、他の人に迷惑をかけてしまった、大会で目標に届かなかった・・・といった失敗の経験は、叱ったりそのままにしたりせず、受け止めて、次に生かすようにしたいものです。

子どもは「失敗をしながら成長していく存在」です。その時どんな気持ちだったか、何が足りなかったか、もっとよい対応はなかったか、などを共に考えることで前向きな気持ちを持つことができるようになります。失敗こそ子どもが成長するまたとないチャンスととらえたいものですね。保護者の方々が経験なされた失敗談などは、この上ない貴重なものになります。同じ一人の人間として、共に成長していく存在として、語り合えたら素晴らしいです。

A 新聞やテレビのニュースが伝える世の中の様々な出来事には、様々な人間の様々な考え方や生き様が見えてきます。これらは、子どもにとっても親にとっても絶好の「生きた教材」になります。家族団らんの場などで取り上げ、話し合うことで、タイムリーで貴重な生き方の学習ができます。手軽にできて、効果も高く、ご家庭でぜひやっていただきたい取組です。

